

旧横浜正金銀行屋根ドーム 見学記

大岡實建築研究所では1966年（昭和41年）、神奈川県横浜市中区に所在する旧横浜正金銀行本店の屋根ドームを復元設計している。

ドームの特別見学日があり、間近にその姿を見学する機会を得た。

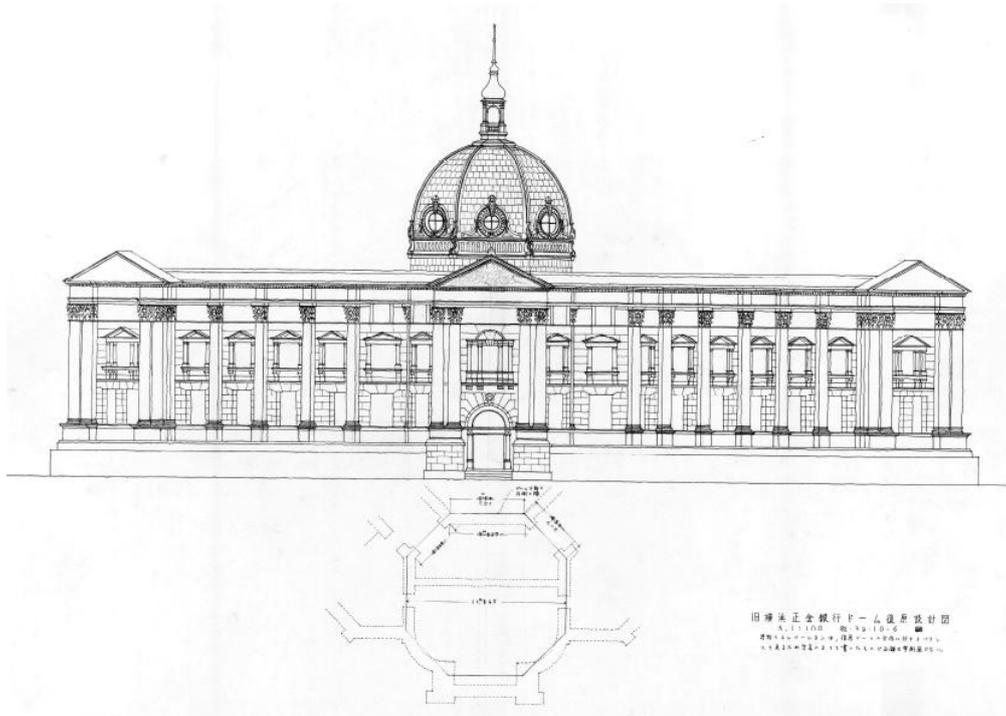
外観



撮影 齊藤一平氏

1904年（明治37年）竣工の妻木黄頼の設計による旧横浜正金銀行本店は、1923年（大正12年）の関東大震災で火災により正面屋上のドームは鉄骨を残して焼失した。その後、神奈川県立博物館として開設される際にほぼ創建時に近い形状のドーム（隅欠き八角形で、直径約12m、ドームの高さ10.05m、道路面からの高さ36m）が復元されたという。その形状は球形のドームではなく八角形リブ付きドームであり、それも正八角形ではなく、正面側が長い形である。

大岡實自筆のドーム復元設計図

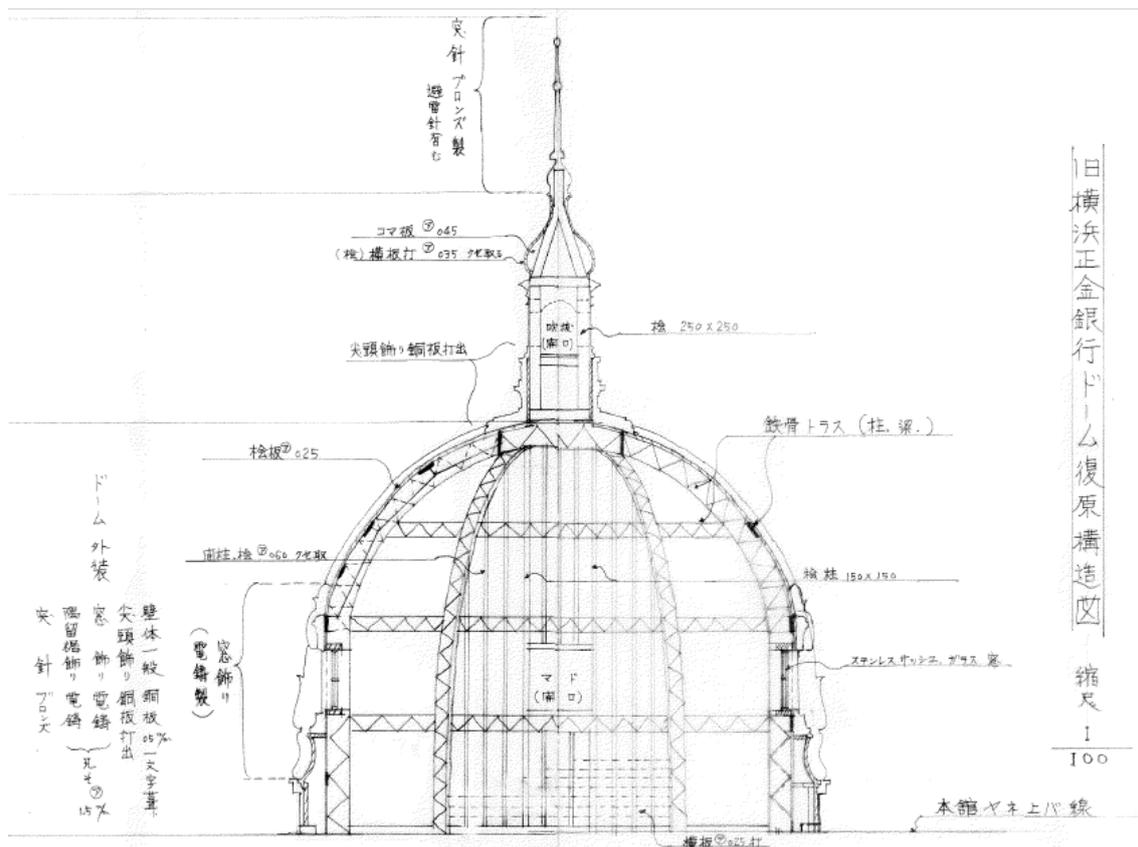


ドーム小屋裏

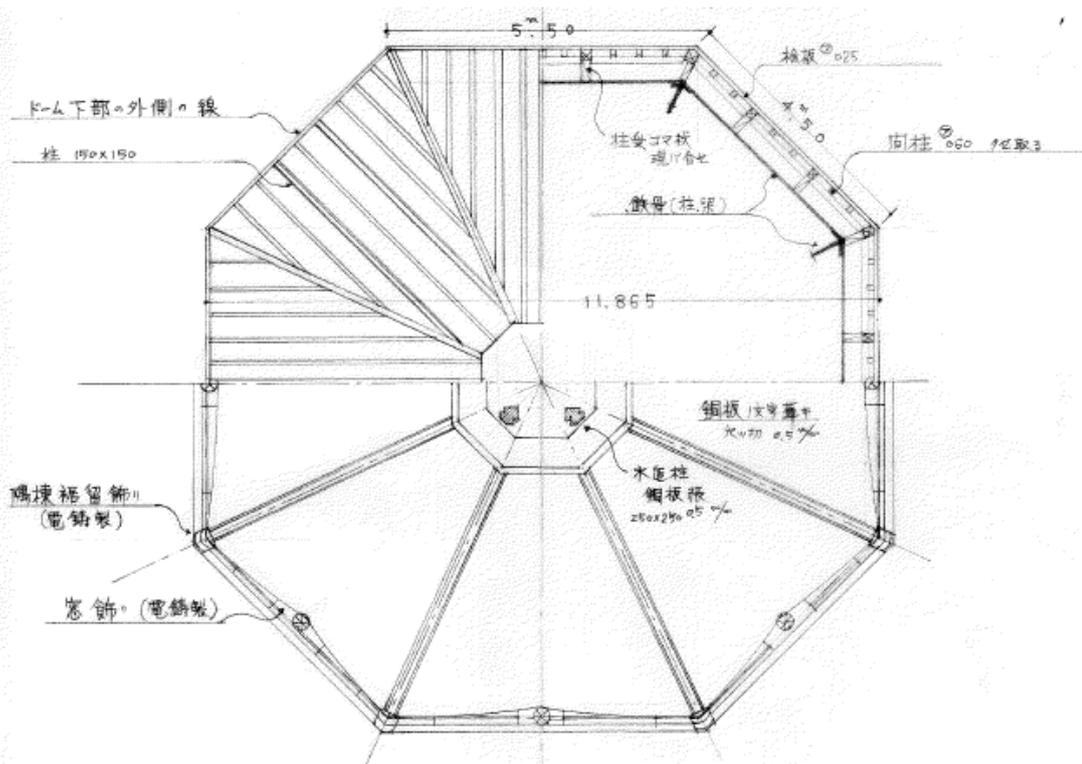


撮影 齊藤一平氏

構造図



正八角形ではなく、正面側が長い形であるのが見てとれる



ドームの骨組みは、元々鉄骨組みであり、復元にあたっては曲線部分を作るのに適しているため同じく鉄骨骨組とし、野地・野縁材には形を作りやすい檜材を使用しているのが特筆される。

詳しくは

<http://www.ohoka-inst.com/yokohamabank.html>

を参照してください。